

◎豊岡コース

豊岡総合公園⇒花咲乃庄⇒豊岡とれたてげんき村⇒豊岡中学体育館⇒社山⇒獅子ヶ鼻公園⇒岩室廃寺⇒
永安寺⇒一雲齋⇒豊岡梅園⇒豊岡支所⇒シルクロードミュージアム



①豊岡総合公園

かわいらしい"豊岡富士"を中央に配した児童公園や、数百もの珍しい薬草が栽培されている薬草公苑、そして、豊岡の歴史を辿れる民俗資料館など、学と遊びが集合した自然の中のセンターです。園内には体育館、テニスコート、野球場、弓道場などのスポーツ設備が充実しています。



②花咲乃庄

◎登録有形文化財(国・平成20年(2008年)3月7日指定)

大筆家は造り酒屋として栄えた旧家で、建物の一部が散逸したが、主部屋・御蔵二棟・井戸小屋・主門・内門・通用門・外垣・内垣・前庭・中庭・奥庭等屋敷全体が当時の面影を残し管理されている。現在は民間文化施設「花咲乃庄」として公開されている。

★豊岡地区の特産品①★



敷地米

山里(敷地)でしか作れないお米、土地・日照時間・水・空気この条件が揃ってはじめてできる極上米。地域が全国に誇れるブランド、しきじ米。



③採れたて元気村

とよおか採れたて元気村は、農産物を中心に、豊岡地区で生産・加工された地場産品にこだわり、生産者の商品を委託販売しています。元気村は、単に物を売るだけでなく、訪れていただいた消費者の皆さんに見て・触れて・味わっていただくことで、消費者の声と、生産者の思いを相互に深めています。



④豊岡中学校体育館

静岡県磐田市豊岡にある体育館。設計を手掛けたのは日本を代表する建築家安藤忠雄である。安藤作品としては、あまりメディアに登場しない建物だが、安藤建築の特徴である、コンクリート打ち放しを使用しない表現を試みている作品



⑤社山遺跡

986年鷺坂[勾坂]十郎則実が築いて以来、鷺坂氏代々の居城となり、11代六郎右衛門入道長能の時、勾坂城主になったとされる、文亀年間(1501~1504年)二俣近江守昌長の築城説が有力と言う。1560年「桶狭間の戦い」の後、武田氏と徳川氏の攻防が繰り返され、1590年家康関東移封に伴い廃城となる。現在は八幡神社となり、空堀、土塁、曲輪が残されている。



⑥獅子ヶ鼻公園

弘法大師の開山伝説のあるこの公園は遊歩道やアスレチックが整備され、春は桜(ソメイヨシノ・ヤマザクラ約200本)やツツジ、初夏は新緑の中で森林浴、バードウォッチング、秋は紅葉(モミジ約200本)と四季折々の自然を満喫できます。名前の由来となった水成岩からなる巨岩・奇石の「獅子ヶ鼻」は、昔「牛ヶ鼻」と呼ばれていましたが、安政の大地震で一部が欠け落ち今の名前になりました。



⑦岩室廃寺跡

敷地岩室地区を中心として広大な範囲に堂塔が配置された密教系の寺院である。遠江風土記伝によれば平安から室町にかけて栄えた大寺院で、開創は弘法大師と伝えられている。



⑧永安寺

実は平成18年、火災に遭い、本堂を失ってしまった。参道から見上げた寺門の奥には、ぽっかりとした空間だけがあり、そのまま裏山が見渡せる。しかし住職や近隣の人々の手入れにより、寺は荒れ果てることはない。樹齢300年の雲竜の松は圧巻のクロマツ。



⑨萬世山一雲齋

開祖川僧禪師は、森町大洞院に修行したのち、大本山永平寺の職にある中、後小松天皇の重病を治して一躍、時の人となった。その後、全国信者の喜捨(きしゃ:寄付)で現在地へ建てたこの寺は、三層の本堂、間口11間の山門を誇り、修行僧は700人を超えたという。門第4傑の一人である太年祥椿は、袋井市の名利可睡齋の開祖。元龜3年(1572年)の兵火で堂宇を焼失後、家康の命令で一雲齋は可睡齋の末寺となった。これを「本末顛倒」とする



⑩豊岡梅園

約4万坪の敷地内に約4,000本の梅が植えられている梅の名所です。2月中旬~3月上旬には咲き競う花が山全体を白く覆います。また、散策道が整備されており時間をかけて園内を楽しむことができ、所々に紅梅が配置され色どりを添えています。



⑪シルクロードミュージアム

シルクロード(絹の道)の文化は、我が国の正倉院の宝物の源流として知られていますが、ここには、紀元前3000年頃から15世紀頃までの、彩文土器、磨研土器、イスラム陶器、ガラス器などの美術品が展示してあります。開館時間 9:30~1700

ころ柿

まるで、すだれのように吊るされた「ころ柿」は、晩秋の風物詩。豊岡村の敷地地区で初冬の特産品・干し柿。昭和初頭から生産を始めた同地区の干し柿は糖度の高さが自慢で、住民は親しみを込めて「ころ柿」と呼ぶ。柿全体にまんべんなく太陽が当たるようにコロコロ位置を変えたことから付けられた。

★豊岡地区の特産品②★

